



国家一般職
採用案内

業務説明会 資料

令和8年度 東京労働局
厚生労働事務官(労働基準行政)
～労災保険のスペシャリスト～

労働局の概要

労働局は、働く人のための、

- **仕事の確保**（**職業安定行政**）
- **職業能力の向上**（**人材開発行政**）
- **労働条件の確保**（**労働基準行政**）
- **働き方改革**（**雇用環境・均等行政**）

など、「働く」ということに関連する様々な行政分野を、総合的・一元的に運営しながら、地域に密着した労働行政を担うことを目的とした、厚生労働省の地方機関です。

地域の総合労働行政機関として、仕事を探している人、働く人、事業を行っている人などと広く接し、様々な相談に対応したり、課題の解決に取り組んでいます。

また、東京労働局の各行政分野は、**働く方を直接支援する第一線機関**を有しており、労働基準行政の第一線機関である「**労働基準監督署**」、職業安定・人材開発行政の第一線機関である「**ハローワーク**」があります。

厚生労働省

厚生労働本省（霞が関）

東京労働局

ハローワーク
17所

労働基準監督署
18署

職業安定行政

すべての人々が、その能力を最大限に発揮して働けるようにするとともに、人材を求める企業のニーズに応えることなどを目的としています。
求職者と求人者を結びつける職業相談・職業紹介、労働者が失業した場合の失業等給付の支給、障害者・高齢者などの就職促進等の業務を行っています。

人材開発行政

すべての人々が能力を高め、各々に適した仕事に就けるよう支援することを目的としています。
スキル向上・キャリア開発に向けた支援を通じて、働く人の未来への挑戦にしっかり寄り添うことで、すべての人が持てる能力を存分に発揮し、いきいきと働くことのできる社会の実現を目指します。

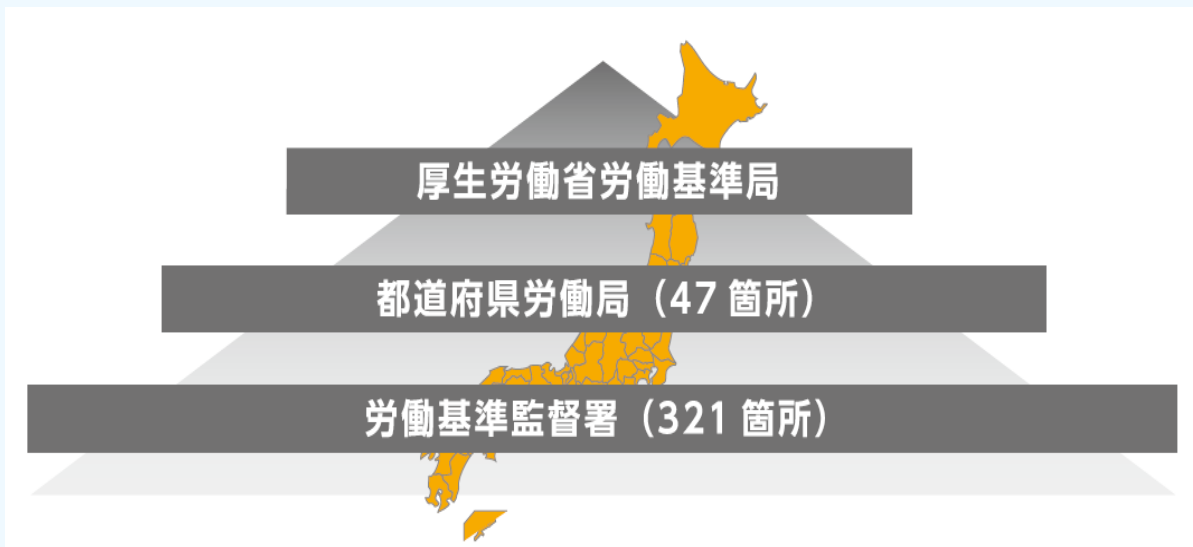
労働基準行政

労働条件の向上、労働者の安全と健康の確保を図ることを目的としています。
労働者の業務災害・通勤災害について、必要な保険給付を行う制度の運営や事業主が納付する労働保険料の徴収などの業務を行うとともに、長時間労働の抑制、賃金の確実な支払い、不適切な解雇の防止、労働災害の防止などを推進しています。

雇用環境・均等行政

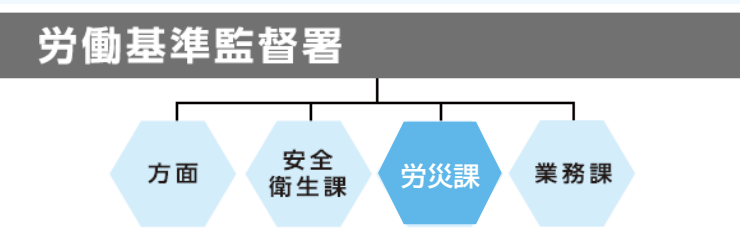
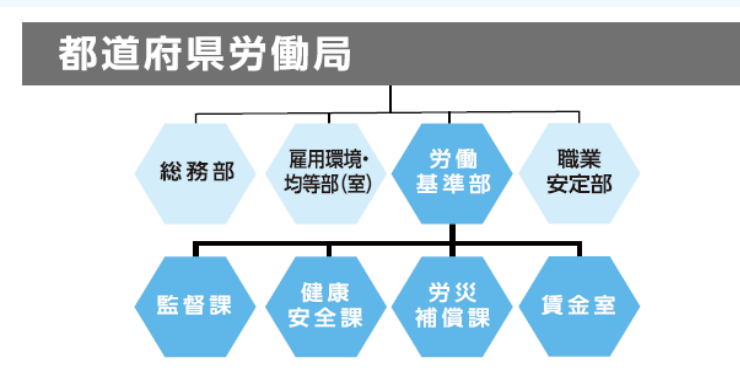
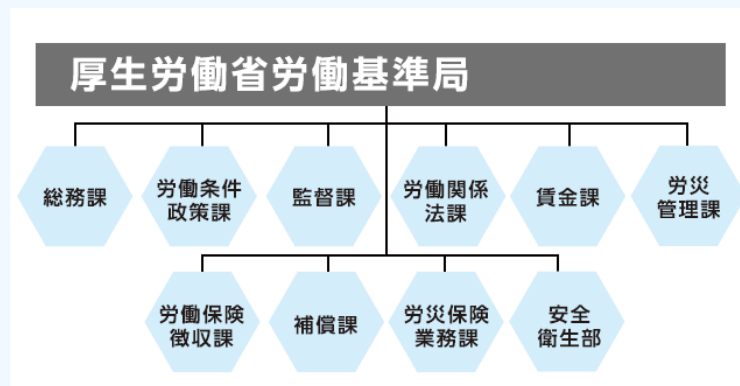
働き方改革を進め、誰もがいきいきと働きやすい雇用環境を実現することを目的としています。
法律や制度の周知、事業主への指導、相談受付、紛争解決援助などを実施し、非正規雇用労働者の待遇改善、ハラスメント対策の推進、女性の活躍推進、ワーク・ライフ・バランスの推進などに取り組んでいます。

労働基準行政の組織



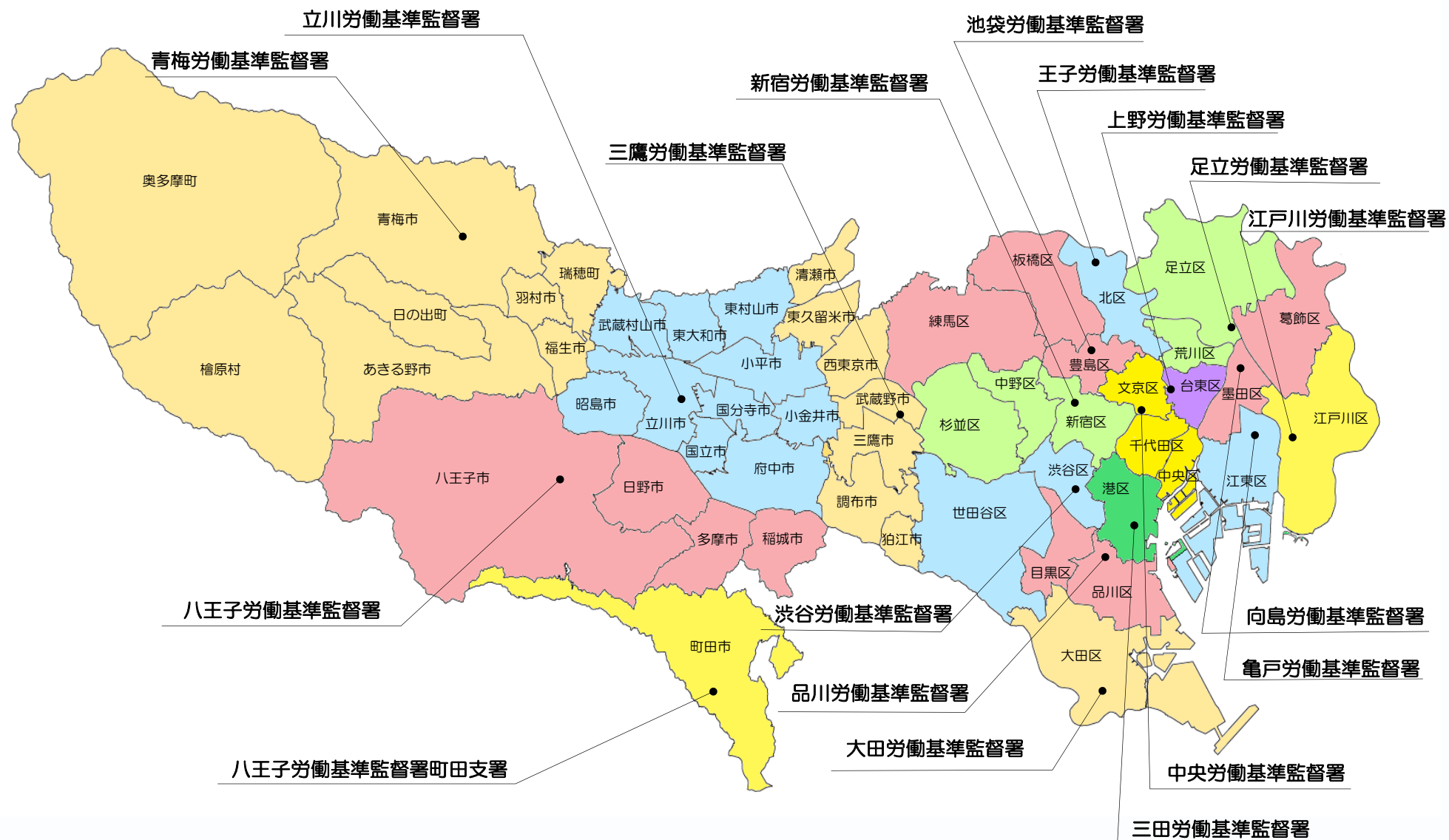
労働基準行政の組織は、厚生労働大臣の下に労働基準局が、各都道府県には都道府県労働局が、さらに第一線機関として321の労働基準監督署が置かれています。これらはすべて国の機関です。

労働基準行政においては、国民を対象とした行政活動の多くを、第一線機関である**労働基準監督署**において展開しています。



※都道府県労働局及び労働基準監督署の組織図は一例であり局・署によって異なります

労働基準監督署一覧



厚生労働事務官（労働基準行政）の仕事

東京労働局又は労働基準監督署で、
労災保険、労働保険などの仕事を担当します。

▶ 労災保険業務

労災保険は、働く人が仕事や通勤によって怪我をした場合に、その怪我に対する補償をする保険です。補償内容には、療養補償（治療費）、休業補償、障害補償等がありますが、

- ・ 労災保険の請求受付・審査【認定】
- ・ 労災保険の適正管理 e t c .

の仕事を行います。

▶ 労働保険適用・徴収業務

労働保険とは、労災保険と雇用保険の総称で、働く人を雇う事業主の方が加入する保険です。

- ・ 労働保険の加入受付・審査
- ・ 労働保険が適正に申告されているかの調査 e t c .

の仕事を行います。

▶ 労働局での業務

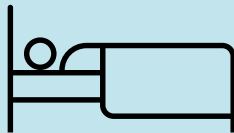
労働局では、労災保険・労働保険の仕事のほか、勤務する職員の勤務時間や人事などの総務や、給与の支払いなどの会計に関する仕事等も行っています。

仕事中・通勤中 に負傷



療養（補償）給付

治療や薬剤の支給



休業（補償）給付

療養のため労働することができず、そのために賃金を受けていない際の補償



障害（補償）給付

負傷や疾病が治ったとき、身体に一定の障害が残った場合の補償



遺族（補償）給付

業務または通勤が原因で亡くなった労働者の遺族に対し支給

1 相談・受付

労働基準監督署の労災課(労災保険給付の受付窓口)には、工作中や通勤途中の災害により負傷した労働者やその労働者の事業主等が窓口を訪れます。

労災保険に関する相談や労災保険の給付請求書の記入方法等の質問に対して、相手の立場に立って話を聞き、必要な手続きについて案内します。

また、電話で相談を受けることもあります。

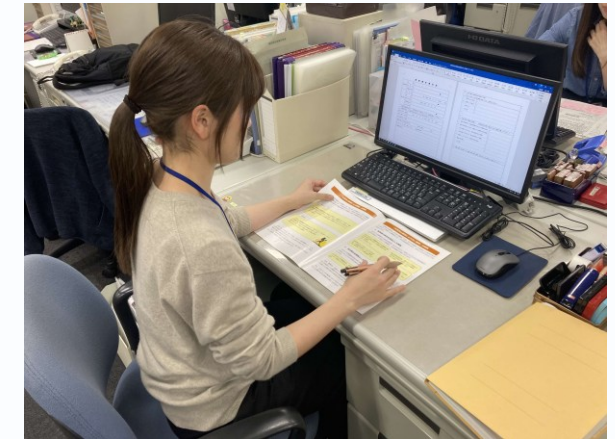


2 調査

窓口で給付請求書を受付しても、その場ですぐに支給手続きができるわけではありません。

労働者のケガや病気の原因が、仕事や通勤に伴うものであったかを確認するため調査を行います。

保険給付の判断決定までに約6か月かかる事案もあります。



さてここで考えてみましょう。
下記のような事例は、労災に該当するでしょうか？

昼休憩中に、定食屋さんに向かう途中の道で転倒し、怪我をしました。
このような場合は労働災害に該当するでしょうか？



解説は本説明会の後半で！！

調査の流れ

請求書に記載されている
内容の確認

必要に応じて様々な調査を行う

請求人聴取、現場の確認

関係者聴取

資料収集
・分析

過去の病歴の確認

当時の健康状態の確認

認定・不認定の決定

いつケガしたのか？
どのような労働災害が
あったのか？
どのようなケガ
なのか？

他の原因はないか？



労災請求書見本

第六号(表面) 労働者災害補償保険 裏面に記載してある注意事項をよく読んで、記入してください。

標準字体で記入してください。

性別 男 1 年齢 55 年 08 月 26 日 9050605

氏名 厚勞 太郎

住所 千代田区霞が関 100-8916

職 種 鋳物工

労働災害の原因及び発生状況 (どのような場所でのどのような作業中、どのような状況で発生したか) 詳細は裏面に記入してください。

鋳物工場内の2階倉庫から1階作業場に通じる階段において、木箱(65×45×20cm)を倉庫から搬出作業中、後ろ向きに階段を下っていたため、足を踏み外し、約1.7m下に転落し、左足首を捻挫した。

部位及び状態 左足関節捻挫

事業主の氏名 代表取締役 〇〇 一部

事業場の所在地 〇〇区〇〇町〇〇

労働者の所属事業場の名称・所在地 〇〇工業株式会社

労働者の氏名 〇〇 〇〇

請求人の氏名 厚勞 太郎

請求人の住所 千代田区霞が関1-2-2

労働基準監督署長 殿

〒100-8916 電話(〇〇)〇〇〇〇-〇〇〇〇

調査年月日 〇〇年〇〇月〇〇日

復命書番号 第 〇 〇 〇 〇 号

決定年月日 〇〇年〇〇月〇〇日

不支給の理由

鋳物工場内の2階倉庫から1階作業場に通じる階段において、木箱(65×45×20cm)を倉庫から搬出作業中、後ろ向きに階段を下っていたため、足を踏み外し、約1.7m下に転落し、左足首を捻挫した。

【災害現場確認】

労災請求人が働いている現場や災害発生場所へ直接行き、仕事内容や仕事で使用する道具、災害発生の状況等を確認します。
現場に足を運んで自分の目で実際に見ることで、書類だけでは見えなかったことを発見できることがあります。



【聴取】

労災請求人や関係者と面談し、災害の状況、残業時間等の主張を相手から聴き取り、聴取書を作成します。
話を聴きながら内容を記録し、作成した聴取書の内容を相手に確認してもらい、印鑑を押印してもらいます。
相手の合意の上で署名・押印をもらいますので、重要な証拠資料となります。

【病院へ意見書依頼】

労災請求人が受診している病院の医師へ意見書という文書の作成を依頼します。

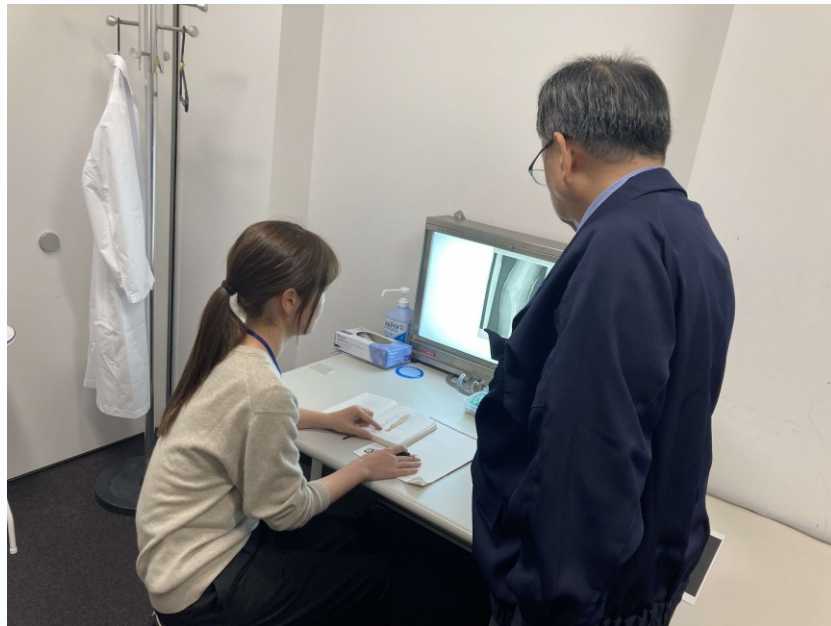
意見書とは請求人の傷病年月日や傷病名、発症原因、治療内容等の医学的な意見を医師に記載してもらう書類です。

請求があった傷病はどのような原因で起こる症状なのか、主張している業務内容で起こり得ることなのか等、医学的な観点からの意見を述べてもらいます。

氏名 _____ 負傷年月日 _____

1. 初診年月日
令和 ____ 年 ____ 月 ____ 日
2. 初診時の状況及び主訴
3. 他覚的所見、検査成績
4. 症状の経過、治療内容
5. 傷病名及び診断に係る医学的根拠
(傷病名)

(医学的根拠)



【障害認定】

仕事中等の負傷により後遺症が残ってしまった場合、労災保険法で定める障害等級に該当するか判断するため、労災請求人に来署してもらい、後遺症の状態を確認します。整形外科の医師と一緒にレントゲンを確認したり、関節の角度計測の補助等を行います。

医師と一緒に仕事をするすることで、医学的知識が身に付くこともあります。

【客観的資料の収集】

労災請求人が勤務する事業場へ、タイムカードや作業日誌等の提出を依頼し、客観的な証拠となる資料を収集します。

このような資料から、労災請求人が主張していることと相違がないかを確認していきます。

【仕事以外の要因の確認】

労災請求人の持病の有無等を確認するため、健康保険組合など関係機関に資料の提供依頼や、関係者から話を聞くことがあります。

これらの調査を経て確認した事実関係から、労災保険給付の可否を判断します。

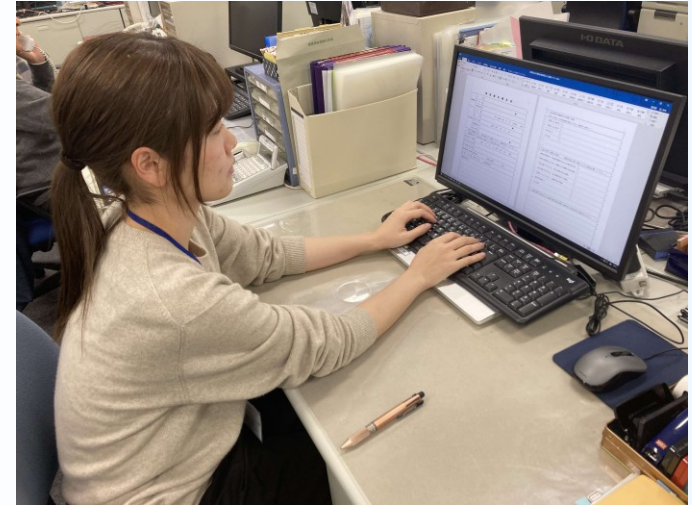
どの程度調査を要するかは請求の内容により異なります。



3 復命書の作成

これまでの調査で確認した事柄を取りまとめた報告書（監督署では復命書と言います。）を作成します。

復命書は監督署として労災保険給付の可否を判断するために作成する書類で、復命書の内容を基に監督署長が最終的に処分決定します。



4 労災保険の給付

監督署長の決定を受けて、労災保険の支給（不支給）手続きを行います。請求人やその家族の生活の早期救済を図るため、迅速な給付決定が求められています。

支給決定通知見本

労働者災害補償保険
療養・休業補償給付等

(1) 支給決定通知

請求人	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	性別	男
支給決定金額	保険給付額	999,999,999,999	
	特別支給金額	999,999,999,999	
期間	支給基礎日額	XXXXXXXXXXXX	支給日数
	999,999,999,999	X XXXXXXX	999,999
算定基礎	999,999,999,999	X XXXXXXX	999,999
減額	一部負担金相当額	999	
標準	標準等調整減額	XXXXXXXX年全	999,999,999,999
理由	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		

※ 休業補償給付の保険給付額は支給基礎日額の6/10、特別支給金額は支給基礎日額の20/100にいずれも1日当たり円未満切捨ての予定です。あなたが請求された保険給付・特別支給金を上記のとおり決定したので通知します。

XXXXXXXXXXXX

XXXXXXXXXXXX 労働基準監督署長 労働基準監督署長印

表記についての説明事項

- ① 労災給付の種類
1…休業補償給付・休業補償給付
2…療養給付・療養給付
3…労災給付・労災給付
4…労災給付・労災給付
5…労災給付・労災給付
6…労災給付・労災給付
7…労災給付・労災給付
8…労災給付・労災給付
9…労災給付・労災給付
10…労災給付・労災給付
- ② 増額減額
1…増額
2…減額

先ほどの解説です。

昼休憩中に、定食屋さんに向かう途中の道で転倒し、怪我をしました。
このような場合は労働災害に該当するでしょうか？

⇒ 休憩時間については、労働基準法で「使用者（事業主）は休憩時間を自由に利用させなければならない」と定められています（第34条第3項）。
そのため、休憩時間中に行った個々の行為は“私的行為（私用）”であり、事業主がその責任を負うものではないため、一般的には労働災害とは認められません。

ただし、外出しようとして会社内の廊下を歩いていたところ、濡れていたため滑った等、会社施設の管理状況に問題があった場合には業務災害となる場合もあります。



労働保険

労災
保険

雇用
保険

労働保険適用・徴収業務とは

- ・労働保険の加入手続き
- ・保険料の申告受付及び徴収の業務
- ・保険料が適正に申告納付されているかの確認のための会社への立入調査
- ・保険料を滞納している会社に対する指導
- ・労働保険未加入の会社に対する指導、強制加入、財産差押え

…etc

労災保険：

業務中や通勤中の負傷等に際して給付を受けるための保険

雇用保険：

失業した際に失業給付を受けるための保険

※事業主が加入(強制加入)



労働保険パンフレット

1 加入の相談・受付

労働保険は、国の強制加入保険です。
事業主は労働者を1人でも雇った場合、加入手続きが必要となりますので、労災課では手続きについて案内し、提出された書類の内容を審査・受付します。



年度更新の様子



2 年度更新

事業主は1年に1度、従業員に支払った総賃金から算定した保険料（確定保険料）と、当年度に支払いが予想される賃金額から算定した保険料（概算保険料）を計算して申告書を作成し、所轄都道府県労働局又は労働基準監督署に提出します。この手続きを年度更新といいます。

毎年、6/1～7/10が年度更新の期間となっており、この時期は多くの事業主や会社の経理担当の方が保険料計算の相談や申告・納付のために窓口を訪れます。

3 加入促進

毎年11月を「労働保険未手続事業場一掃強化期間」として、市区町村や商工会議所、労働保険事務組合（民間の委託団体）等と協力し、労働保険の広報を行っています。

また、電車内や駅構内、インターネット検索サイト等へ広告掲載をお願いするなど、労働保険加入手続きの重要性を広く周知しています。



4 算定基礎調査

労働保険が適正に申告・納付されているかを確認するため、調査対象の事業場へ赴きます。

事業主から、事業内容の確認できる書類や賃金台帳等の給与データを提出してもらい、当初申告のあった保険料に誤りがないかを細かく計算していきます。



守る責任。加入する義務。

仕事中
不意のケガにも
安心を



事業主のあたりまえ川柳

現在、東京都内では862万人（※）もの方が就業しています。この862万人もの労働力は我が国の経済活動の基礎であり、とても大事な国の財産です。そして、この大事な財産を根本で守っているのが、労働者のセーフティネットである労働保険です。

労働者
もしもの時を
守る保険



事業主のあたりまえ川柳

この労働保険の保険料は、不慮の事故や失業の際の生活を支えるための保険給付はもちろん、災害防止活動や雇用の安定のための各種の助成金、労働者の能力開発などにも使われています。

雇ったら
必ず手続き
忘れずに



事業主のあたりまえ川柳

助かるな
失業中の
生活費



事業主のあたりまえ川柳

※ 令和7年「労働力調査」より



菊地 萌慧

令和6年 厚生労働事務官採用

令和6年 中央労働基準監督署労災課

令和8年 亀戸労働基準監督署労災課
現職

Q1 志望動機を教えてください

業務説明会に参加して、労災という業務内容に興味を持ちました。障害認定で普段聞かないような医療知識を聴くことができること、また、実際に負傷した場所を調査しに行くこともあるということに惹かれました。

Q2 仕事で大変だったこと、やりがいを感じたことを教えてください

東京労働局は窓口に来庁される方や電話のお問い合わせが多く、自分が聞いたことがないような問い合わせを受けることもあって、すぐにお答えができない時に、とても難しい仕事だなと感じます。

でも、また同じような質問を受けた時に、その経験を活かしてスムーズに回答することができた時は、自身のスキルアップを実感することができ、とてもやりがいを感じます。

Q3 採用前と採用後で仕事に対するイメージは変わりましたか？

採用前のイメージは、1人で黙々と仕事を進めていくものだと思っていました。でも実際に仕事に就いてみて、労働災害に遭われた方のお話を聞いたり、上司や先輩に相談したり、人と会話することが多い仕事だなと感じています。

わからないことがあれば、的確にアドバイスしてくれる上司や先輩ばかりで、相談もしやすく、とても温かい職場だなと思います。

Q4 受験生へメッセージをお願いします

今はまだ、どの様な仕事をしたいか悩んでいる方もいると思います。当時の私もどんな仕事に就きたいかととても悩んでいました。もし、同じような悩みを抱えているのなら、積極的に業務説明会に参加して、質問したり、職場の雰囲気を感じ取ってみてください。皆さんと働ける日を楽しみにしています。

お待ちしております！



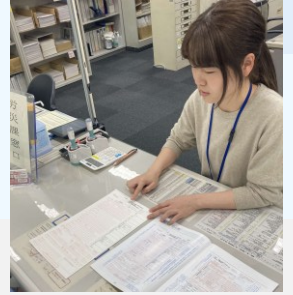
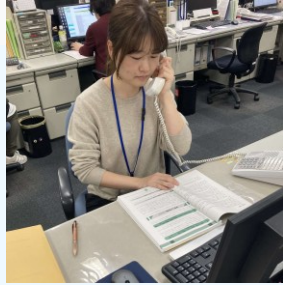
労働基準局広報キャラクター
「たしかめたん」

厚生労働事務官のある1日

 **8:30**
(始業)


窓口対応業務

8:30の開庁時間になったら窓口を開け、来署した労働者から労災の相談を受けたり、事業主が持参した労働保険料申告書の受付、書き方等を説明します。



請求書審査

窓口業務の合間に、提出された労災保険請求書に誤りや不足がないか審査します。不備があれば本人や事業場の担当者に電話等で確認します。

 **12:00**

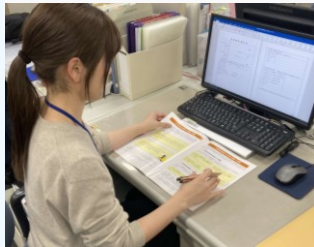
ランチ

1時間休憩し、リフレッシュ。午後の業務に備えます。




聴取

労災請求人に来署していただき、災害発生時の状況や、業務内容などを詳しく聴き取ります。



復命書作成

これまでの調査で確認した内容を取りまとめた復命書（報告書）を作成し、上司の決裁を仰ぎます。

 **17:15**
(終業)

退勤

翌日に行くことを整理し、窓口を閉め、机の上を片付けて業務終了です。仕事の進捗状況によっては残業をすることもあります。

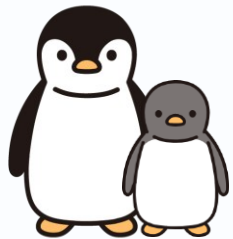


向島労働基準監督署労災課 関 真也（平成20年度入省）

部署異動をした令和6年4月に長女が産まれました。異動してすぐに育児休暇を取得することになりましたが、「おめでたい事だから」と職場の上司や同僚に快く送り出していただき、担当業務のフォローもしていただきました。東京労働局では男性も積極的に育休取得するよう推奨されており、通常の育児休業のほかに、産まれてすぐの「産後パパ育休」制度があります。第1子だったため、夫婦一緒に最初の育児に奮闘でき、貴重な時間を家族全員で過ごすことができました。

渋谷労働基準監督署労災課 中野 沙耶（平成20年度入省）

私は令和5年7月に第3子を出産しました。妊娠を上司に報告してからは業務量を調整していただきました。上司や同僚から体調や仕事量についてお声がけをいただき、落ち着いた気持ちで産休に入ることができました。また、保育園の空きがなくて希望していた年度途中で復職することができなかったのですが、育休を延長することを快く認めていただきました。育休を取得することで下の子だけでなく上の子たちと関わる時間も持てて、子供の成長を見守れる、かけがえのない時間を過ごすことができました。



東京労働局の育児休業取得率は、男女ともに**100%**（※）となっており、仕事と家庭の両立がしやすいように職場全体でサポートしています。

（※R7年度実績）

【新規採用者向け研修】

- ▶ 新規採用研修 ～4月第1週目開催
- ▶ 労働行政職員（基礎）研修 ～5日間

【専門研修】

- ▶ 労災保険給付専門研修 ～8日間
- ▶ 労災診療費審査専門研修 ～8日間
- ▶ 労働保険適用徴収専門研修 ～4日間 等

【管理者等研修】

- ▶ 労働基準監督署課長研修 ～5日間 等

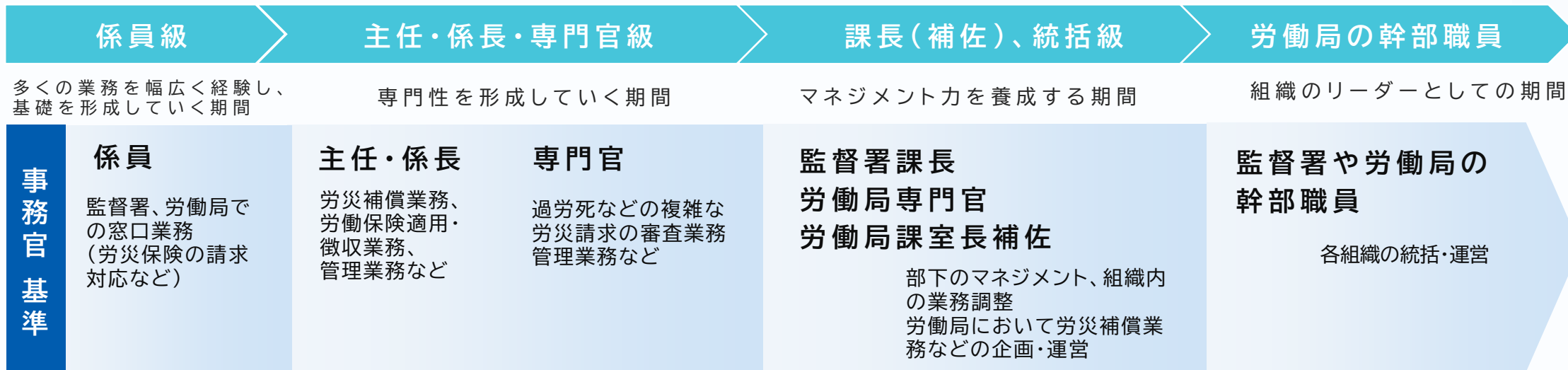
【その他】

- ▶ 各種配置換職員研修
- ▶ プレゼンテーション研修
- ▶ パソコン研修 等

労災補償業務初級研修の様子



入省後のキャリアパス



※ 実際の東京管内の監督署では、係員、主任・係長等に関わらず、皆で協力して窓口業務を行い、また係員も労災補償・労働保険適用徴収の審査業務に携わっています。

【人事異動】

国家公務員といえば全国転勤が一般的ですが、**労働局は採用された都道府県内での異動のみ**となります。東京労働局内の人事異動については、おおよそ2～3年毎に労働局(九段下)又は東京都内18の監督署に勤務することになります。

居住地を考慮して勤務先が決まるため、**基本転居する必要がなく**、東京都内は交通網も発達していますので、ライフプランが非常に立てやすい職場です。



給与・勤務時間

初任給	一般職（大卒程度）採用：232,000円、一般職試験（高卒程度）採用：200,300円 （東京都特別区勤務の場合：一般職（大卒程度）採用：278,400円、一般職試験（高卒程度）採用の場合240,360円）
諸手当	通勤手当、扶養手当（子月額13,000円等）、住居手当（最高限度月額28,000円）、 超過勤務手当など
昇給	原則年1回
賞与（ボーナス）	期末手当、勤勉手当として、1年間に俸給の月額等の約4.65ヶ月分 （6月、12月に支給）
勤務時間	1日7時間45分 （午前8時30分から午後5時15分まで、又は午前9時から午後5時45分まで）
休暇等	年次休暇：20日 ※4月1日採用の場合、採用年は15日 残日数は20日を限度として翌年に繰り越し その他病気休暇、特別休暇（夏季・結婚・出産・忌引・ボランティア等）、介護休暇等
休日	土・日、祝日等・年末年始（12月29日～1月3日）

超過勤務（残業）時間は
月平均11.5時間/1人
※ R7年実績

年次休暇取得日数
年平均17日/1人
※ R7年実績

東京労働局では、毎週水・金曜日を「一斉定時退庁日（ノー残業デー）」としており、5月と10月を「超過勤務縮減月間」として、残業を減らせるように取り組んでいます。
また、月1日の「マンスリー休暇（年次休暇）」の取得を奨励し、ワークライフバランスの実施に努めています。

R8.4.1現在

【過去5年間の採用者数】

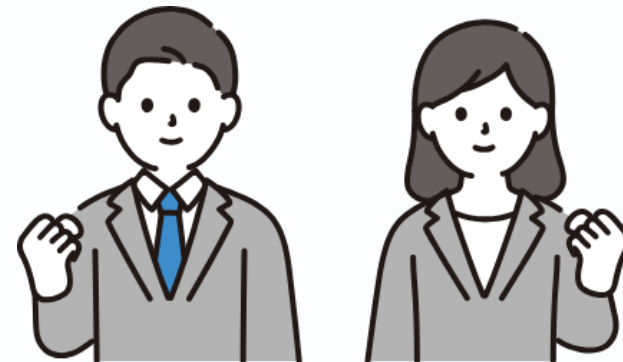
	2025年度	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度
大卒程度	10 (6)	4 (1)	7 (3)	4 (2)	6 (1)
高卒程度	1 (0)	5 (2)	7 (6)	8 (5)	7 (6)
合計	11 (6)	9 (3)	14 (9)	12 (7)	13 (7)

※ 採用実績欄の () はうち女性の数を示します。

※ 既卒者の方は、中途採用の枠もあります。(10月1日付け採用など)

【参考】

- ・ 職員数：約740人（労働基準系統のみ）
- ・ 職員全体の男女比 男性6：女性4
ただし、非常勤職員も含めると男女比はほぼ同数です



職員からのメッセージ

先輩からのメッセージ

「とにかく公務員になろう」としか考えていなかった私にとって、国家公務員がどんな仕事をしているのか全く分かりませんでした。そこでまずはどんな仕事があるのか知ってほしいという考えで様々な業務説明会に参加していた内の1つが東京労働局でした。説明を受けたことで「労働局での業務は労働者の心の支えになれるな」と感じ、父が建設業に従事しており、仕事におけるケガのリスクを小さなころから感じていた私にとって労働局での労働者を守るための業務に魅力を感じ、志望しました。

現在の私の業務内容は、業務中、通勤中に災害に遭われた労働者の方の治療費、休業補償等の補償が可能か否かを審査する労災補償業務及び労働保険の加入・更新を受付、審査する労働保険適用業務です。業務を行うに当たり覚えることも多く大変に思うこともありますが、経験を重ねるごとに自分の成長を感じることができ、やりがいのある仕事だと思いますし、保険給付を行った労働者の方から、「本当に助かりました」との言葉をいただけたときはこの仕事をしていてよかったなと感じます。

職場環境も風通しが良く、分からないことはいつでも誰にでも聞くことができるのでとても働きやすいです。採用局ですずっと働くことができるので、転居を伴うような異動も基本的には無いですし、休暇をとりやすい点も魅力的だと感じています。

「安定だけでやりがいのない仕事」と思われがちな公務員という職業ですが、労働局及び労働基準監督署での業務は社会貢献を多く感じることのできる魅力的な仕事です。是非一緒に働きましょう、お待ちしております。



三田労働基準監督署
労災課
清水 吾郎 (R4入省)

労働者を守る、国民を守る



今このパンフレットをご覧の方の中には、人生の大きな選択の場面で後悔したくないとの思いから「どの省庁や自治体が自分に合うのだろうか」と悩んでいる方も多いのではないのでしょうか。私自身も若い頃、同じように悩んでいた一人です。一度は他省庁に入省したものの、仕事を続ける中で違和感を覚え、辞職して再度試験に挑戦し、現在の東京労働局へ入省しました。その後30年以上にわたり労働行政に携わることになったのは自分でも驚きですが、その理由のひとつには当局の持つ「寛容で温かな雰囲気」があったと感じています。

この仕事は単なる事務ではなく、労災補償や労働保険の業務を通じて、人々の暮らしや企業活動を支える重要な役割を担っています。多様な業種や働き方が集まる東京では、一律の対応ではなく、その場に応じた判断力が求められます。決して簡単な仕事ではありませんが、その分得られるやりがいは大きく、自らの成長も実感できます。「人や社会に関わる仕事がしたい」という思いがあれば、着実に力を伸ばしていける職場です。

自分の可能性を信じるのは今です、皆さんと共に働ける日を心から楽しみにしています。

労働保険徴収部長 佐藤 孝広

平成元年入省 総務部会計課長等歴任
令和8年現職